

ひろば

vol.49



後志自動車道(余市IC~小樽JCT間)が平成30年12月8日(土)に開通致しました

【開通区間の概要】

後志自動車道(北海道横断自動車道)は、北海道を東西に横断し、後志・道央地域などの連絡の強化を図り、沿線地域の安全・安心を確保するとともに、産業・経済・観光等の発展に資する高規格幹線道路です。

【開通区間】

余市IC(余市町登町)~小樽JCT(小樽市新光町)

【延長】

23.3km

【期待される主な開通効果】

- ・国道5号の安全性の向上と代替路確保
- ・噴火災害時の代替路確保
- ・観光の活性化
- ・地域の安全・安心な暮らしに寄与

CONTENTS

| | |
|-----------------------------------|---|
| 関係行政機関新任ご紹介 | 2 |
| 北海道新幹線整備促進に向けて 「ひろば」49号発刊にあたって | 3 |
| 小樽建設協会・建世会とともに「世界の後志」を目指して | 4 |
| 協会事業報告 | 6 |
| ICT活用に関する技術の習得に向けて | 7 |
| 建世会の動き 会員企業の表彰 | 8 |
| 労働災害防止対策の徹底について | |

発行責任者/小樽建設協会 会長 吉本 正則
 所在地/小樽市花園2-10-24
 発行日/2019年3月8日
 TEL/0134-24-0158 FAX/0134-29-3430
 印刷/榎石井印刷
 ホームページアドレス <http://www.otarukenyoo.com>
 メールアドレス info@otarukenyoo.com



小樽建設協会
会長 吉本 正則

発注官庁並びに関係各位におかれましては、常日頃より当協会にご指導ご鞭撻を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、11月23日に国道5号倶知安余市道路の内、倶知安・共和間の着工式が執り行われるとともに、12月8日には後志自動車道余市・小樽間が開通しました。

ともに、後志管内に暮らす者の悲願であったもので、命の道路ともいわれるように地域住民の方々の安心・安全の向上と地域経済の活性化、そして、道路建設工事のより一層の本格化が見込まれるものであります。

また、北海道においても、避難道の建設や後志の魅力発信のため水産基盤整備、農業農村整備等の事業が盛んに行われております。

このように管内の社会資本整備が、目に見える形で急速に進んでいるのは、平成24年の総選挙において、自公政権の誕生があったことによるものと考えております。

その間の、地元選出の中村代議士、村田道議、八田道議、また発注者並びに関係各位のご努力に対し、感謝と敬意を表するところであります。

また、9月6日には、胆振東部地震が発生しました。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、隣接する地域で、インフラ整備を担う業界団体として、お役に立てることはないかと考え、協会役員全員から災害支援金を募り、10月22日に厚真・安平・むかわ3町にお見舞いに伺い、災害支援金を贈らせていただきました。

大規模な土砂崩れや家屋倒壊、道路・山林の損害など甚大な被害を目のあたりにし、改めて地震災害の恐さを深く認識したところであります。

災害への備えとともに、災害に強い強靱な地域づくりに向けたインフラ整備の重要性についての認識が、今後益々高まるのではないかと考えております。

我々建設業は、地元である後志地域で長きにわたって、地域住民の方々が安心して暮らせる社会資本整備を担わせていただくとともに、雇用の下支えを含め、地域経済の中心的役割を果たしてまいりました。

人口減少や、働くことについての価値観が多様化する中、建設業界が将来にわたって、社会的使命を果たし、持続的に発展していくためには、何よりも担い手の確保・育成が喫緊の課題であるとともに、週休2日制等の「働き方改革」や生産性向上に向けたアイ・コンストラクションなどの技術力習得への取り組みが求められています。

当協会としては、これらの課題にしっかりと向き合い、常に10年先の地域社会の将来像を念頭に、会員が心をひとつにして知恵と工夫に努め、関係機関と連携しながら取り組みを強めてまいります。

小樽建設協会は、結束力の強い協会として、多くの方々から評価を受けており、これまでも幾多の困難に屈することなく生き抜いてまいりました。

昭和に始まり、平成へと引き継がれてきた小樽建設協会のシンボルマークであります「技術・信頼・和」の精神を、新時代においても変わることなく、信念として持ち続け、これからも会員が一丸となり、建設業が担う役割の重要性・必要性をアピールしながら、地域社会を支えてまいりたいと考えております。

関係各位におかれましては、今後とも更なる温かいご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

結びとなりますが、小樽建設協会の機関紙であります「ひろば49号」を通して、当協会への一層のご理解とご支援の輪が広がることになれば幸いです。



国道5号倶知安余市道路(倶知安-共和)着工式
平成30年11月23日 共和町生涯学習センター



胆振東部地震災害支援金の贈呈
平成30年10月22日 安平町役場

寄稿

小樽建設協会・建世会とともに

「世界の後志」を目指して

小樽開発建設部長 橋本 幸

この原稿に向かっている今は2月の中旬。ちょうど「小樽雪あかりの路」の期間中です。

「観測史上最強の寒波」という、それはそれで印象深い日に、私達小樽開発建設部も、凍えながら雪像作りに勤めました。

羊蹄山を模した雪山。そしてそこに掲げたのは、私達小樽開建のスローガン「世界の後志を目指して」です。



世界 of 北海道、世界の後志

北海道開発局という組織は、戦後の発足以来、「北海道総合開発計画」という長期計画を約10年毎に立てながら北海道の開発を担っています。

現行計画は平成28年3月に策定された第8期目の計画。これを閣議決定していく過程において、北海道の持つ「食」と「観光」のポテンシャルの高さから「世界の北海道を目指して」というサブタイトルが加えられました。

当時自分は本省在籍でこの計画の策定班の一人でしたが、昨年4月に小樽開建に着任して後志の「食」と「観光」に触れ、目指している「世界の北海道」の種がこの地域のあちこちに転がっていることに驚きました。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

「世界の後志を目指して」という言葉は、後志が率先して「世界の北海道」を担うべきであり、また担えるという思いから自然に湧き出したものです。

既に「ShiriBeshi」を打ち出されていた後志総合振興局にお願いしてコラボロゴを作り、発信し始めたのは、マスコミ等にも取り上げて頂いてご承知の通りです。

生産空間と社会の基盤

食も観光も、そこに住む方々の生産活動という営みがあったること。現計画ではその生産活動を支える場を「生産空間」と名付け、人口減少の中でこの生産空間のサバイバルを賭けて、政策や事業を集中させることとしています。

便利な世の中になりました。地域にデパートが無くなってもAmazonでモノが買え、映画館が無くなってもYouTubeで映画が観られる時代です。

しかし、人がそこに住み続けられる社会の基盤づくりに仮想空間の出番はありません。「土木」の技術を駆使し、実際に技術者が動くことでしか、社会の基盤を作り、守ることはできないのであり、「生産空間」を守るための小樽建設協会の役割は重みを増すばかりです。

環境の変化

ところで、こうした役割は本来時代を問わず不変であるはずですが、世の中の様々な変化の中で、極端な浮き沈みを経験してきました。

将来の経営も見通せるような計画的な予算編成を進める共に、適切で公正な入札契約に今後とも努めてまいりたいと思います。

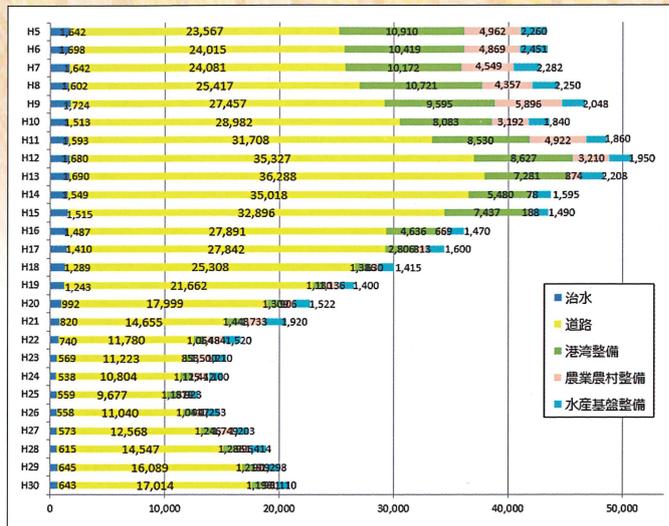
10年後の後志

昨年の12月8日、余市～小樽間の高速道路が開通しました。北海道で最初の高速道路＝札幌道の開通から実に約半世紀を経て、ようやくその延伸を実現することができました。

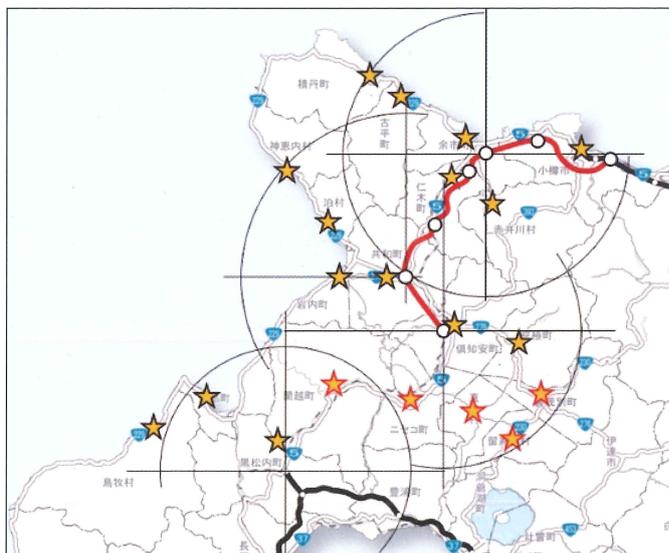
私達北海道開発局の最も基本的な役割は、インフラと呼ばれる社会基盤の整備ですが、とりわけ後志一円に関わるものとして、上記の高速道路を倶知安まで延伸する後志自動車道があります。これが完成すると、管内20の全ての市町村の中心から30分以内に高速道路にアクセスすることが可能となります。

道内他地域では既に整備が進められている高規格幹線道路が後志地域にもようやく導入されたその時、後志は何をこの地域から外に出し、何を外からこの地域に迎えているのでしょうか。

すぐ目の前にある将来に向けて、地域の皆さんと一緒に考えさせていただければと思っています。



【後志自動車道と30分アクセス圏域】(模式図)



小樽建設協会・建世会とともに「世界の後志」を目指して

小樽開建部長室の自分の手元には小樽建設協会の50周年記念誌「回帰」と60周年記念誌「21,900日の進化」が常時あります。会員の皆さんの顔とお名前を覚えたり、一つ一つの会社の歴史を知る参考書としても使わせて頂いています。

それによれば30周年、40周年記念誌の名称は「建設闘魂」だったとのこと。さすがは熱い小樽建協！長い闘いを経て、また前述のような予算額の大きな荒波も乗り越えて、現在も後志地域を作り、守ってくれていることに、心から敬意を表します。

「世界の後志を目指して」のロゴや、これを配したクールビズ、ウォームビズは、職員のみならず、現場や技術者の皆さんにもノリ良くお付き合いいただきました。単純な私はいつも単純に嬉しくなっています。



「世界の後志」を目指す同志として、平時は明るく楽しく、災害時や非常時はお互い歯を食いしばって、一緒により良い地域を作ってまいりましょう。

協会事業報告

協会行事 平成30年度

1月 新年交礼会



新年交礼会
(H30.1.18)

北海道建設部との意見交換会
ICT土工に関する技術勉強会
小樽建設管理部建設業経営効率化に関する研究会
後志総合振興局との意見交換会

2月 北海道原子力防災(冬季)訓練



北海道原子力防災
(冬季)訓練 (H30.2.8)

小樽地域建設事業専門研修会

3月 小樽建設管理部との意見交換会 後志総合振興局建設工事技術者研修会・意見交換会 後志総合振興局建設工事優秀技術者表彰式

4月 小樽開発建設部との意見交換会

5月 北海道開発局との意見交換会 小樽建設管理部との意見交換会 北海道建設部との意見交換会

6月 後志総合振興局との意見交換会 交通事故・労働災害防止総決起大会(小樽・倶知安)



交通事故・労働災害防止総決起大会(小樽H30.6.13・倶知安H30.6.20)

土木施工管理技術講習会

7月 i-Construction勉強会 小樽建設管理部維持管理業務に関する意見交換会 後志総合振興局現場安全パトロール 工事の円滑化等に関する実務責任者レベル意見交換会

8月 北海道建設部・小樽建設管理部との意見交換会 建設産業魅力発信セミナー(苫小牧) 小樽未来創造高等学校現場見学会



小樽未来創造高等学校現場見学会 (H30.8.23)

9月 鳥インフルエンザ防疫演習 建設産業魅力発信セミナー(小樽建設協会会員発表)



建設産業魅力発信セミナー (H30.9.29)

10月 労務費調査事前説明会(小樽・倶知安で開催) 北海道原子力防災訓練 北海道胆振東部地震被災3町(厚真町・安平町・むかわ町)へ支援金を贈呈



被災3町へ支援金贈呈 (H30.10.22)

小樽建設管理部維持・除雪功労者表彰式

11月 北海道開発局との意見交換会 労務費調査 小樽建設管理部優秀現場代理人表彰式 北海道ICTモデル工事現場見学会



北海道ICTモデル工事現場見学会 (H30.11.29)

12月 北海道建設部工事等優秀業者表彰伝達式 小樽建設協会通常総会



小樽建設協会通常総会 (H30.12.19)

酸素欠乏特別教育(小樽未来創造高等学校)



酸素欠乏特別教育(小樽未来創造高等学校) (H30.12.25)

ICT活用に関する技術の習得に向けて

小樽建設協会は、HR S株式会社(本社:小樽市勝納町8番39号)の協力を得て、平成30年7月12日(木)と7月18日(水)に、「i-Construction勉強会」を開催しました。

2回あわせて、会員企業から48名が参加し、京極町内の農業土木工事現場での実務講習、小樽建設協会倶知安支所での座学講習を通して、ICTに関する理解と技術習得に務めました。

現場講習では、「ドローン及びLS(レーザースキャナー)による起工測量について」と題し、実際に機器を使用し、計測の種類や撮影計画、評定点・検証点の設置方法等について学ぶとともに、座学講習では、「起工測量データ及び設計図面の3次元化」及び「ICT活用工事におけるハードとソフトの選定及びICT建設機械とソフトウェアの機能要求事項」について受講しました。

小樽建設協会では、ICT活用に関する更なる理解の深化を図るため、今後も出来高管理などの勉強会を実施してまいります。



建世会の動き

高速道路体験バスツアー2018

■ 日時:平成30年9月22日

■ 行程:倶知安町—余市町—小樽市—札幌市

平成21年から毎年開催している高速道路体験バスツアーを30年度も開催し、33名の小学生に参加していただきました。

今回は、目的地である白い恋人パークへの往路復路で小樽市(朝里)—札幌市(札幌西)間の高速道路と一般道での所要時間・乗り心地の差を体験していただき、東日本高速道路等の工事現場を見学しました。

また、開通前の余市IC~小樽JCTの内、余市IC~小樽塩谷ICまでを参加者が自転車で渡り初めするとともに、表層をする前の道路の上に思い出の落書きをする等、貴重な体験をしてもらいました。



会 員 企 業 の 表 彰

(敬称略)

平成30年

北海道開発局 優良工事施工業者及び技術者局長表彰

㈱草別組 五十山田 博隆

㈱佐々木組 小岩 央

小樽開発建設部 優良工事施工業者及び技術者部長表彰

和田建設工業㈱ 徳田 秀明

㈱星組土建 水上 丈晴

三陽建設工業㈱ 青山 武敏

㈱吉本組 土門 浩之

北海道建設部工事等優秀者表彰

近藤工業㈱

宮本土建工業㈱

㈱志比川組

北海道水産林務部工事等優秀業者表彰

水産土木部門

㈱福津組

森林土木部門

白木建設工業㈱

横関建設工業㈱

後志総合振興局建設工事優秀技術者表彰

農業土木部門

辺見 徳 白木建設工業㈱

古田嶋 建 ㈱草別組

高山 義信 ㈱櫻組

水産土木部門

竹森 朗 ㈱吉本組

佐藤 静司 近藤工業㈱

森林土木部門

森 啓 協成建設工業㈱

小林 善哉 協成建設工業㈱

藤山 清美 白木建設工業㈱

森林室 森林土木部門

上野 聖史 藤信建設㈱

小樽建設管理部 優秀現場代理人表彰

及川 俊博 ㈱吉本組

丸子 博志 和田建設工業㈱

吉倉 利昌 近藤工業㈱

志比川 実 ㈱志比川組

金崎 大輔 ㈱菅原組

全国建設業協会表彰

五十嵐公一 瀬尾建設工業㈱

斉藤 憲章 ㈱福津組

渡邊 幸藏 菊地建設鉦業㈱

中林 一尋 白木建設工業㈱

熊野 克敏 ㈱吉本組

北海道建設業協会表彰

清水 憲光 ㈱吉本組

住吉 孝男 阿部建設㈱

五十山田 博隆 ㈱草別組

山本 一夫 中村建設㈱

小樽建設協会表彰

齊藤 健一 近藤工業㈱

森田 修司 阿部建設㈱

阿部 信司 ㈱草別組

高岡 一夫 中村建設㈱

山本 司 ㈱佐々木組

労働災害防止対策の徹底について

小樽建設協会 会長 吉本 正則

会員並びに関係各位におかれましては、日頃より、労働災害防止対策の徹底に鋭意努力されておられますことに敬意を表します。

しかしながら、工事現場における事故は、季節の変わり目等を含め、何らかの作業環境の変化に伴い発生することが懸念されます。

会員並びに関係各位におかれましては、改めて工事現場の安全確認を再度行い、事故要因の排除を確実に実施し、会社一丸となって労働災害防止の徹底に努められるよう切にお願いするものであります。